



# 令和7年度 枝川小学校グランドデザイン

## 本県教育目標

ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う  
郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

## いばらき教育プラン（本県総合計画より）

基本理念「活力があり、県民が日本一幸せな県」

### 令和7年度学校教育指導方針

すべての子どもの可能性を引き出す活力ある  
学校づくり

## ひたちなか市教育委員会

### 「市立学校運営方針 2025」

自ら考え行動しより良い社会の  
創造に貢献できる市民の育成  
～こどもを主語とした自由で楽しい学び場づくり～

## 本校の教育目標

自ら進んで活動し、心豊かでたくましく生きる児童の育成

## 校訓

礼儀 健康 協力

### 目指す学校像

#### 明るく楽しく学び合う学校

- 一人一人が生き生きと活動する学校
- 一人一人が学ぶ意欲に満ちた学校
- 一人一人が活躍する場のある学校

### 目指す児童像

#### 心豊かで、自ら伸びようとする子

- 進んで学び、よく考える子  
(自ら学び、考え、判断し行動する子)
- やさしく思いやりのある子 (心豊かな子)
- 健康でたくましい子 (進んで運動する子)

### 目指す教師像

#### 児童、保護者、地域から信頼される教師

- 広い視野と温かな人間性をもち、熱心に教育できる教師
- 児童とともに行動する教師
- 授業や指導を振り返り、課題を見つけ、改善していくことをとする教師

## <本年度の重点目標>

- 「こども基本法」の理念を踏まえて児童の意見を尊重するとともに、シビックプライドの醸成を図る。
- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的な推進の充実に取り組む。
- 第50回全校音楽発表会に向けて全校音楽活動を推進する。

### 知 進んで学び、よく考える子

#### 具体的な姿

- 「なぜ」「どうして」にワクワクする
- 課題を最後までやり抜く
- 「分かった」を「もっと知りたい」につなげる
- 主な手立て**
  - 児童の探究意欲が高まる課題設定を工夫する。
  - 教師が「教える」から児童が「学ぶ」授業をデザインする。
  - 次の学びにつなげる学習内容や方法を自己選択（決定）する機会を増やす。
  - 試行錯誤、アウトプット、まとめと振り返りの充実を図る。
  - 読書活動を推進し、「言葉」に親しむ児童を育成する。【年間50冊以上100%の継続】(4~6年)

### 徳 やさしく思いやりのある子

#### 具体的な姿

- 「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に言える
- 自分との違い（多様性）を認め、自分も相手も大切にする
- 友達の喜びや悲しみに共感できる
- 主な手立て**
  - 「やればできる委員会」を中心に、笑顔プロジェクトを実施する。
  - 話合い活動の充実を図り、共感的な人間関係づくりを推進する。
  - 異学年交流（縦割り班活動）の充実を図る。
  - 道徳科のロールプレイを活用して、「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言えるようにする。
  - 一人一人の「学び」と「心の居場所」を保障する。
  - 「生徒指導提要」の日常的な活用を図るとともに、生徒指導に係る情報交換を週1回実施する。

### 体 健康でたくましい子

#### 具体的な姿

- はつらつと生活する
- 新しい遊びやスポーツに挑戦する
- 協力することを大切にし、ルールを守る
- 自己ベストに挑戦する
- 主な手立て**
  - 体育科授業を工夫（ブロック合同授業の実施等）することで、運動量を確保する。
  - チームプレーやフェアプレーを称賛し、肯定的なフィードバックを行う。
  - 体力づくり活動の推進に取り組む。
    - ・走れ走れ運動の実施やロング昼休みを活用した集団遊びの充実を図る。
  - 学区内の栄養教諭と連携して食育を推進する。
  - 外部講師を積極的に活用する。

## 服務規律の確保に向けた取組

- 当事者意識の高揚、違和感の共有を図る風通しのよい職場環境づくり
  - ・不祥事ゼロの継続、「たいせつです運動」の推進、「One IBARAKI」の活用
  - ・初期対応の徹底、ボトムアップ型研修の継続（月1回）
- 学級経営、授業力の向上及び定期的な教育相談の実施

## 教職員の育成

- やりがい、働きがいを実感できる教員評価・人事評価の実施（面談の充実）
- 授業づくりの校内研修の推進
  - ※校内研究テーマ「探究を軸とした学びの構築を目指して」
- コミュニティ・スクールを含む地域や家庭との連携・協働の促進と情報発信の充実
- スクールカウンセラー等と連携を図り、いじめ未然防止プログラムの実践

## 働き方改革

- 超過勤務時間は、全員が月35時間以内
- チームづくりと話しやすい職場の雰囲気づくりを生かした取組の推進
- 計画的な年休取得など、ワークライフバランスを意識した教職員のパフォーマンス向上
- 生成AIの校務への活用

## 【組織目標】

自ら考え、行動し、決める  
場面を多く設定する。

## 【グループ目標】

- 【知】児童の「なぜ」「わかった」を、「もっと知りたい」につなげる授業をデザインする。
- 【徳】多様性を認め、共感的な人間関係づくりを推進する。
- 【体】児童が運動に親しむとともに、自己の目標に挑戦できるように支援する。